

日系アメリカ人リーダーシップ・シンポジウム 2025

From Hiroshima to Hope

ひろしまから希望へ： 世界の平和と安全保障に対する 日系アメリカ人の視点

2025年3月3日(月)

18:30-19:45 開場 18:00

広島女学院中学高等学校

ゲーンズホール（広島市中区上幟町 11-32）

参加登録



※日英同時通訳あり

※参加費無料

お問い合わせ

公益財団法人 米日カウンシル - ジャパン

Email: jald@usjapancouncil.org

2025 年に広島が原爆投下から 80 周年を迎え、日本被団協の核軍縮活動に対するノーベル平和賞受賞を世界が祝う中、本セッションでは、世界の平和と安全保障を推進する上で、日系アメリカ人が果たすべき役割について考えます。広島県知事の湯崎英彦氏の基調講演の後、JALD プログラム参加者の中から 4 名の代表者が登壇し、広島に受け継がれる遺産、平和構築への日系アメリカ人の貢献についてパネルディスカッション形式で議論します。また、ファミリールーツや日本との繋がりなど、日系アメリカ人の歴史と遺産についても共有します。

プログラム：

開会の辞

基調講演

短編ムービー

パネルディスカッション モデレーター

パネリスト

質疑応答

オードリー・ヤマモト 米日カウンシル 会長兼 CEO

湯崎 英彦 広島県知事

日系アメリカ人の歴史

デリック・ヤネヒロ TV プロデューサー

エレン・カメイ マウンテンビュー市議会議員、元市長

アン・テラニシ アメリカンセービングバンク社長

ドーン・ヤマネ・ヒューイット 弁護士

主催：米日カウンシル

後援：外務省、広島県、広島市、広島県教育委員会、へいわ創造機構ひろしま

助成：独立行政法人 国際交流基金

協力：広島女学院中学高等学校、NPO 法人 Peace Culture Village

在米日系人リーダー訪日プログラム (JALD) について

米国における日系人社会と日本の相互理解を促進し、両者の長期的な関係を強化することを目的として、2000 年より外務省主催の在米日系人リーダー訪日プログラム (略称: JALD) が実施されており、米日カウンシルは本プログラムの運営を担っています。2025 年は全米各地で活躍する日系アメリカ人 10 名を約 1 週間日本に招き、広島県および東京都を訪問し、政官民の幅広い有識者との交流を図ります。プログラムの一環として開催する本シンポジウムは、日本における米国日系人社会に対する理解の促進と日米対話の推進を目的としています。

相互理解と国際協力の促進という日米両国の優先事項に沿った本シンポジウムは、現代のグローバルな課題に取り組む上での文化交流や歴史共有の重要性にも焦点を当てます。パネリストたちは、広島県の教訓が平和、和解、そして日米パートナーシップの更なる強化に向けて、次世代をどのように導くことができるか、参加者の皆さんとの対話を促進してくれるでしょう。

登壇者 (敬称略)

基調講演者

湯崎 英彦 広島県知事

東京大学卒業、スタンフォード大学経営学修士 (MBA) を取得。1990 年に通商産業省 (現: 経済産業省) に入省。自動車、対米通商、エネルギー、ベンチャー等を担当し、シリコンバレー VC に出向。退官後、株式会社アッカ・ネットワークスを設立し、代表取締役 CEO として個人向け・法人向けブロードバンドの普及を通じ、日本のインターネット産業の基盤構築に貢献。同社は 2005 年に上場。2009 年の広島県知事選挙で初当選し、以降、4 期連続の再選を果たす。

モデレーター

デリック・ヤネヒロ (カリフォルニア州ロサンゼルス) ABC ネットワークニュース プロデューサー

ヤネヒロ氏は、カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする ABC ネットワークニュースのプロデューサー。外務省および米日カウンシルの「Kibou for Maui」プログラムを取り上げたシリーズ「Maui Strong 808」の主任プロデューサーを務める。また、「Good Morning America」、「World News Tonight」、「Nightline」にてエンターテインメントや速報ニュースを担当。ABC ニュースでインターンとしてキャリアをスタートさせ、5 回のエミー賞受賞歴を持ち、現在はプロデューサーとして活動。アジアの物語を主流メディアで伝えることの重要性を認識し、その実現に尽力している。アジア系アメリカ人ジャーナリスト協会の会員であり、若手アジア系ジャーナリストの指導にも取り組む。日系 3 世で、ハワイ州ホノルルで生まれ育ち、ロングビーチ州立大学で放送ジャーナリズムの学位を取得。祖先の出身地: 山口県

パネリスト

エレン・カメイ (カリフォルニア州マウンテンビュー) マウンテンビュー市議会議員

カメイ氏は、シリコンバレーの中心地に位置するカリフォルニア州マウンテンビュー市の市議会議員であり、元市長。86,500 人を超える住民、国内外に名を馳せる企業、小規模ビジネスコミュニティを代表する。中国系・プエルトリコ系アメリカ人の母親と、ハートマウンテン収容所で生まれた日系アメリカ人の父親を持つ。行政の専門家であり、連邦議会、ニューヨーク市、カリフォルニア州議会など、あらゆるレベルの政府で働いた経験を有し、現在は AT&T カリフォルニアの渉外部の一員。「Silicon Valley Business Journal」の女性インフルエンサー賞受賞者であり、カリフォルニア都市連盟で、ベイエリアの 36 都市からなるペニンシュラ部門の前会長。ペンシルバニア大学で行政学修士号、カリフォルニア大学サンタバーバラ校で学士号を取得し、ハーバード大学ケネディスクールの地方自治体向けエグゼクティブプログラムを修了。祖先の出身地: 和歌山県

アン・テラニシ (ハワイ州ホノルル) アメリカン・セービングス・バンク社長兼 CEO

テラニシ氏は、アメリカン・セービングス・バンク (ASB) の社長兼 CEO であり、同銀行の取締役。弁護士としての経歴を持ち、20 年近い銀行業務経験の中で、運営部門の上席副社長を務め、デジタルバンキングサービスや自動化を推進。また、銀行全体のコンプライアンスプログラムを導入し、小売クレジット部門にて消費者ローンを最速の取扱い水準に導き、顧客満足度を重視する体制を構築。地域社会で活発に活動し、次世代リーダーを指導するほか、米日カウンシルを含むさまざまな団体の理事を務める。クラレモント・マッケナ大学で国際関係と経済学の学士号を取得し、カリフォルニア大学ロースクールで法務博士号を取得。大学生時代には関西外国語大学に留学。夫とハワイに居住、大学生の娘と 10 代の息子がいる。

祖先の出身地: 母方は熊本県および新潟県、父方は山口県および広島県

ドーン・ヤマネ・ヒューイット (ワシントン D.C.) クイン・エマニュエル・ウルクハート・サリバン法律事務所 パートナー

ヤマネ・ヒューイット氏は、世界有数の紛争解決専門の法律事務所であるクイン・エマニュエルの訴訟、仲裁、および調査のパートナーです。政策および国際問題の分野での豊富な経験と、米国商務省の戦略的事業担当の法務副総責任者としての政府勤務経験を活かし、投資条約、商業仲裁、内部調査、政府機関による調査、国家安全保障関連問題を含むさまざまな高リスク案件を担当。イェール大学法科大学院、プリンストン大学国際公共政策大学院、ダブリン大学トリニティカレッジ、ワシントン大学で学位を取得。米日カウンシルリーダーならびに日米リーダーシップ・プログラムフェローであり、米国アジア系太平洋アメリカ人弁護士協会のリーダーシッププログラムを率いている。夫と 2 人の子どもと共にワシントン D.C. に居住。

祖先の出身地: 広島県

米日カウンシルについて:

米日カウンシルは、日米関係を強化すべく、国際的なリーダーを育成し、つなげる組織です。日米両国のメンバーで構成される私たちのコミュニティは、多様性に富んだ活気あるネットワークであり、日米双方の共通課題に対する解決策を生み出すための専門的・個人的な深いつながりを育んでいます。米日カウンシルは、2009 年に日系アメリカ人らによって設立された 501(c)(3) 非営利団体で、ワシントン D.C. に本部を置いています。2012 年には日本法人である米日カウンシルージャパンが設立され、2013 年に公益財団法人に認定されました。

<https://www.usjapanCouncil.org/>

